

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	卒業研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (6) 時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	小川正子・加藤裕史 岡井豪	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
3年間の集大成として、心理学及び精神保健福祉分野の中でも特に関心の深い領域に關関する調査研究を行い、研究論文を作成する。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート提出・計画書や抄録の提出・PPTの提出・プレゼンテーションの態度や完成度など、総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
テキストは用いない。フォーマットや引用参考文献を適宜配布する。						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・先行研究の検索、参考文献の検索を行う ・統計や研究法で学んだことを復習する ・ 						
《履修に当たっての留意点》						
本学の卒業研究、研究手法を学ぶだけでなく、コミュニケーションスキル、協働、チームワークの醸成を図るため、グループで行うものである。学校だけでなく、随時グループで集まり作業を進めること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究協力者に対し、教示ができる。	各グループで必要なもの	研究協力の依頼と教示の練習をする。	
		各コマにおける授業予定	「調査・実験①」 実際に、調査や実験研究を行う。			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	実際に調査を行い、適切にデータを集めることができる。	各グループで必要なもの	役割分担等、グループで決めておくこと。	
		各コマにおける授業予定	「調査・実験②」 実際に、調査や実験研究を行う。			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	適切なデータ入力の方法を身につけることができる。	PC	随時、データ入力をすること。	
		各コマにおける授業予定	「データ入力」収集されたデータをエクセルに入力する。			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	必要な統計を選定することができる。	PC	目的に沿う解析方法を検討しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	「データの解析①」			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	統計の結果から、何が言えるのか説明できる。	PC	目的に沿う解析方法を検討しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	「データの解析②」			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	卒業研究の完成に向け、パワーポイントを作ることができる。	PC 先行研究論文 研究発表用の フォーマット	役割分担し、作業を進める。
		各コマにおける授業予定	「抄録・PPTの作成①」		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	卒業研究の完成に向け、論旨を組み立てることができる。	PC 先行研究論文 研究発表用の フォーマット	役割分担し、作業を進める。
		各コマにおける授業予定	「抄録・PPTの作成②」		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	結果について、何が言えるのか述べるができる。	PC 先行研究論文 研究発表用の フォーマット その他必要な資料	予行練習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「考察」得られた結果から、何が言えるのか先行研究を参考に考察する。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	卒業研究発表用のフォーマットで、プレゼンテーションできる。	PC プロジェクター パワーポイント	予行練習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	「中間発表」得られたデータをもとに、結果や予想される考察など、研究の経過報告を行う。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	完成した形で、研究をプレゼンテーションできる。	PC プロジェクター パワーポイント	予行練習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	「学科内発表」背景・目的・方法・結果・考察・課題について、発表する。		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	他者にわかりやすい発表をすることができる。	PC 先行研究論文 研究発表用の フォーマット その他必要な資料	発表態度、予想質問等についても予行練習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	「学内発表」		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成のフォーマットに沿い、背景や目的を文章にすることができる。	PC 先行研究論文 研究発表用の フォーマット その他必要な資料	随時、論文作成を進めること。
		各コマにおける授業予定	「卒業論文①」背景、目的、研究方法を論文にする。		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成のフォーマットに沿い、結果を文章にすることができる。	PC 先行研究論文 研究発表用の フォーマット その他必要な資料	随時、論文作成を進めること。
		各コマにおける授業予定	「卒業論文②」結果をもとに、論文用のグラフを作成する。		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成のフォーマットに沿い、考察、謝辞、文献リストを作成することができる。	PC 先行研究論文 研究発表用の フォーマット その他必要な資料	随時、論文作成を進めること。
		各コマにおける授業予定	「卒業論文③」考察及び今後の課題、謝辞、文献リストを記述する。		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	卒業論文を提出する。	PC 先行研究論文 研究発表用の フォーマット その他必要な資料	随時、論文作成を進めること。
		各コマにおける授業予定	「卒業論文④」		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	卒業研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (6) 時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	小川正子・加藤裕史岡井豪	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
3年間の集大成として、心理学及び精神保健福祉分野の中でも特に関心の深い領域に關する調査研究を行い、研究論文を作成する。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート提出・計画書や抄録の提出・PPTの提出・プレゼンテーションの態度や完成度など、総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
テキストは用いない。フォーマットや引用参考文献を適宜配布する。						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・先行研究の検索、参考文献の検索を行う ・統計や研究法で学んだことを復習する ・ 						
《履修に当たっての留意点》						
本学の卒業研究、研究手法を学ぶだけでなく、コミュニケーションスキル、協働、チームワークの醸成を図るため、グループで行うものである。学校だけでなく、随時グループで集まり作業を進めること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標					
	各コマに おける 授業予定					
第 17 回	授業を 通じての 到達目標					
	各コマに おける 授業予定					
第 18 回	授業を 通じての 到達目標					
	各コマに おける 授業予定					
第 19 回	授業を 通じての 到達目標					
	各コマに おける 授業予定					
第 20 回	授業を 通じての 到達目標					
	各コマに おける 授業予定					

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 21 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 22 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 23 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 24 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 25 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 26 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 27 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 28 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 29 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 30 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			